

○ 中学校社会 第3学年 ⑤

「現代の民主政治と社会」

問題番号	出題の趣旨	学習指導要領との関連	評価の観点		
			関意	思判表	知技理
(1)	宮崎県で行われた衆議院議員総選挙の結果から、「小選挙区比例代表並立制」という制度名を解答させる、基礎的・基本的な問題である。	公民的分野 (3)イ 民主政治と政治参加 実際の選挙区改正の事例を通して、選挙の意義等について考察させる活用問題である。 問題を解く際には、一票の格差についての意味をしっかりと理解した上で、具体的な資料を基に思考することが大切である。 授業で学んだことを、日常の事例を通して具体的に考えながら、正しい選挙の在り方についての関心を高めることもねらいとしている。			◎
(2)	一票の格差について、具体的な計算をして宮崎県と千葉県の間格差について考える問題である。			◎	◎
(3)	公職選挙法の改正により、千葉県船橋市の選挙区割り改定されたことをもとに、一票の格差の解消の仕組みを論述する問題である。			◎	○